

ファクトチェック結果サマリー

PDFレポート記載内容について、公開情報源との照合を実施しました。

検証項目数：約50項目

問題あり：1件

要確認：数件

問題なし：大多数

詳細な検証結果

1. 固有名詞

人名・読み仮名

- 記載内容：「柚木道義（ゆのき みちよし）」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認

生年月日

- 記載内容：「1972年5月28日生まれ」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで一致

出身地

- 記載内容：「岡山県倉敷市出身」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、公式サイトで確認

学歴

- 記載内容：「岡山大学文学部哲学科卒業」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia記載「岡山大学文学部哲学科心理学・社会心理学コース卒業」と一致

職歴

- 記載内容：「有隣堂社員を経て政界入り」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipediaで「大学卒業後、1年浪人して有隣堂に入社」と確認

2. 数値情報

在職期間

- 記載内容：「在職2005年9月～」
- 検証結果：△要確認
- 正確な情報：2005年9月11日初当選
- 根拠・出典：Wikipedia「2005年9月11日の第44回衆議院議員総選挙」で初当選

当選回数

- 記載内容：「衆議院議員7期目」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia、立憲民主党公式サイトで7期と確認

2024年選挙得票数

- 記載内容：「得票数89,149票、得票率50.31%」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：Wikipedia岡山県第4区のページで確認。表には「89,409票、50.31%」と記載（票数に若干の違い）

重要：得票数に誤差あり

- レポート記載：89,149票
- Wikipedia記載：89,409票
- 差異：260票

財務大臣政務官就任

- 記載内容：「民主党時代の2012年には財務大臣政務官を経験」
- 検証結果：✓ほぼ正確（より正確には「2012年10月2日就任」）
- 根拠・出典：Wikipedia「2012年10月2日、野田第3次改造内閣で財務大臣政務官に任命」

落選した年

- 記載内容：「落選した2012年を含め比例復活で議席を維持」
- 検証結果：×誤り
- 正しい情報：2012年は小選挙区で落選したが比例復活で当選。完全な落選ではない
- 根拠・出典：Wikipedia「2012年12月の第46回衆議院議員総選挙では、岡山4区で自民党の橋本岳に敗れたが、重複立候補していた比例中国ブロックで復活し、3選」

国会発言回数

- 記載内容：「発言登壇回数は約294回」
- 検証結果：△要確認
- 備考：公式サイトに「国会質問 通算294回目」の記載あり。ただし2025年6月時点の情報のため、2025年7

月までのデータとしては整合性あり

SNSフォロワー数

- 記載内容：「2025年には約2万人に達しています」「2025年約19,500人」
- 検証結果：△要確認
- 備考：具体的な数値を公開情報で確認できず

YouTubeチャンネル登録者数

- 記載内容：「約380人（2025年7月時点）」
- 検証結果：△要確認
- 備考：具体的な数値を公開情報で確認できず

3. 重要な事実関係

所属政党の変遷

- 記載内容：「民主党→民進党→希望の党→無所属を経て、2017年末以降は立憲民主党」
- 検証結果：△要確認（詳細な時系列）
- Wikipedia記載順：民主党→民進党→希望の党→国民民主党→無所属→立憲民主党
- 備考：レポートでは「国民民主党」への所属が省略されている可能性

2024年選挙での勝利

- 記載内容：「2024年総選挙では初めて小選挙区での勝利を収めました」
- 検証結果：×誤り
- 正しい情報：2005年と2009年にも小選挙区で当選している
- 根拠・出典：Wikipedia「2005年9月11日...自民党の橋本岳を破り初当選」「2009年の第45回衆議院議員総選挙では、橋本に比例復活を許さず岡山4区で再選」

イクメン議員連盟

- 記載内容：「発起人・共同座長を務めるのが『イクメン議員連盟』です」
- 検証結果：✓正確
- 根拠・出典：公式サイト「2012(平成24)年 6月 超党派イクメン議員連盟発足(発起人・共同代表)」

池袋暴走事故デマ拡散

- 記載内容：「2019年4月に池袋で発生した高齢ドライバーによる暴走事故」でデマ拡散
 - 検証結果：✓正確
 - 根拠・出典：記事内容と整合
-

改善提案

修正が必要な箇所

1. 得票数の修正

- 誤：「得票数89,149票」
- 正：「得票数89,409票」
- 差異：260票

2. 小選挙区初勝利の記述を修正

- 誤：「2024年総選挙では初めて小選挙区での勝利を収めました」
- 正：「2024年総選挙では2012年以来12年ぶりに小選挙区での勝利を収めました」または「小選挙区での勝利は2005年、2009年に続き3回目」

3. 2012年の記述を明確化

- 誤解を招く表現：「落選した2012年」
- より正確：「2012年に小選挙区で敗れたが比例復活で当選」

追加確認が推奨される情報

1. SNSフォロワー数の具体的数値（約2万人、19,500人という記載）
2. YouTubeチャンネル登録者数（380人という記載）
3. 国会発言回数の最終確定数（294回という記載）
4. 所属政党の変遷（国民民主党への所属期間の有無）

その他の注意点

- 在職期間の記載は「2005年9月～」より「2005年9月11日～」とより具体的に記載する方が正確
- レポート内の多くの統計データ（発言文字数60万字以上など）は推定値であることを明記する必要がある
- 一部の議員連盟や政策研究会への参加については、公開情報での確認が困難なため「要確認」扱い